



すたぢ

図書館とわたし

植山由美子

私は図書館を、主に自習室として利用しています。何と云っても静かだし、一所懸命に本を読んだり、目的の書物をさがしたりしている利用者の人達を見ていると、『ああ、みんながんばっているなあ。』と思って、やる気が出てくるのです。そんなわけで、少なくとも週に一回くらいは通うことにしているのですが、その割には、あまり本を読んでいないみたいなので、これから精一杯、図書館の書物を利用したいと思っています。書棚をながめていると、自分でも理解できそうな、面白そうな書物がけっこうありますから、そんなのをかたっぱしから読んでいくのもいいかもしれません。CDやレコードなんかも、機会があれば、利用してみたいです。

(薬学部製薬化学科1年)

本を読んでサマに
なってる人って
いいなー。



河野まき

私はこの4月からカウンターの方でバイトさせて頂いてる者です。恥ずかしながら、このバイトを始めるまでは全くと云っていい程、

図書館とは縁の遠い間柄でした。でもバイトで図書館とお近づきになってみると、縁もたくさんあるし、あらゆる種類の本が書棚つまっているしで、とってもいい環境であることが分かりました。またカウンターで座っていて驚いたのですが、図書館って、割と人気があるんですね。中には利用者カードをフルに(それも数日おきに)利用している人がいたりして、私は感心してしまいました。まだこのバイトを始めたばかりでうまく対応できないことが多々あると思いますが、(本当に私は鈍な者で)これからどうぞよろしく願います。



(薬学部薬学科2年)

「一冊の本」

頼田千賀雄

かつて昔、持っている本の多さが、地位と財産の大きさを意味したことがあった。が、しかし、現在、我々の生活しているまわりには莫大な数の本があふれている。そして、社会が高度化し情報が電気通信機を媒体として、より高速に、より大量に伝達することができるようになったとはいえ、また、活字離れが進んでいるとはいえ、本が我々人生において重要なものを与えてくれることにはかわりがないように思う。換言すると、たった一冊の本が我々の人生を変えてしまう。ということが往々にしてあるように思う。

ある私の恩師は、本は買ってもすぐに読まなくて、ただ積んでおき、その本を買ったことも忘れてしまったところに読むという積ん読

(つんどく)も大切であると教えてくれた。私もその積ん読を大いにして、数多くの本と出会い、人生を変えるような一冊の本を探していきたい。(総合科学部3年)

図書館について思うこと

深 町 真

どんなものでも同じでしょうが、数がふえればふえるほど混沌(カオス)が生じてきます。誰も、カオスを好みません。調和のある状態(コスモス)であるのが好ましいと思うはずです。

カオスからコスモスに転換させる最もやさしい方法は、番号をつけてやることです。しかし当然ながら、図書館の本はそう単純にくものではありません。本に単に番号をつけただけでは、数が多ければなんにもならない

し、内容の似たものは近くにおくほうがよいでしょう。そこで、生物学の分類の手法を応用し、階層的に並べることができるようになっています。だからコードの方式さえ知っていれば、コードだけからでもさがしたい本の場所がわかるわけです。しかし、実際には、コードの方式を覚えるのがわずらわしいし、書架が分野別になっているので、それを手がかりにして本をさがしていますが。とにかく図書館には、秩序ある分類体系があるわけです。

図書館には普遍的に本が集められているので、調べものをするときには大いに助かります。また各種の新聞や雑誌が閲覧できるので、知りたいと思う情報がある程度知ることができます。たとえば、新刊情報やイベント情報、天気情報などです。いつもとはいかなくても、役立つようなことや興味をもてることが見つかるかもしれません。

(総合科学部3年)



昭和63年度貸出ベストテン

順位	書名(著者名)	回数	副本
1	有限要素法液体解析 (川原 睦人)	65	1
2	続 水理学 (本間 仁)	59	2
3	わかりやすい土の力学 (今井 五郎)	57	11
3	マイコンによる有限要素解析 (戸川 隼人)	57	10
5	水理学 (本間 仁)	55	0
6	新大系土木工学 第22巻 (土木学会)	54	0
7	スランプ (小野 三嗣)	50	8
8	数値解析の基礎 (篠原 能材)	49	5
8	破壊力学と材料強度講座 第15巻 (培風館)	49	4
10	運動生理学概論 新訂 (宮下 充正)	46	17

昭和63年度指定図書貸出ベストテン

順位	書名(著者名)	回数	副本	指定科目
1	人類の地平線 (江原 昭善)	60	22	自然科学総合
2	熱・統計力学(物理入門コース7) (戸田盛和)	59	18	物理学
3	線型代数演習 (斎藤 正彦)	52	4	数 学
4	ウバニシャッドの哲人 (松濤 誠達)	50	19	倫 理
5	詳解物理学演習 上 (後藤 憲一)	48	4	物 理
6	経済学 上 (Samuelson, P. A.)	44	14	経 済
7	アメリカ史を学ぶ人のために (今津 晃)	43	9	外国史
8	対話・微分積分学 数学解析へのいざない 新版(笠原晴司)	35	4	数 学
9	地殻・岩石・鉱物 (牛来 正夫)	35	17	地 学
10	基礎定性分析実験 (岩崎 岩次)	34	15	化 学

昭和63年度CD貸出ベスト

順位	曲名	演奏者	回数
1	夜想曲全集2 ト短調作品37の1 (Chopin, F)	Rubinstein, A (Piano)	28
2	交響曲第9番ホ短調「新世界より」作品95 (Dvorak, A)	Czech Philharmonic O.	27
2	ワルツ全集 第1番変ホ長調 Op.18「華麗なる大円舞曲」他 (Chopin, F)	Ashkenazy, V (Piano)	27
4	夜想曲全集1 変ロ長調作品9の1 (Chopin, F)	Rubinstein, A (Piano)	26
4	高橋アキ/The Best of Satie. (Satie)	高橋アキ (ピアノ)	26
6	交響曲第7番ニ短調作品90 (Dvorak, A)	The Cleveland O.	25
7	協奏曲集「四季」作品8 (Vivaldi, A)	I Musici	24
7	三大バレエ・ハイライト「白鳥の湖, 眠れる森の美女, くるみ割り人形より」(Tchaikovsky, P)	The Philharmonia O.	24
9	ヴァイオリン協奏曲第1番イ短調 BWV. 1041 (Bach, J. S)	Jaap Schroder (Violin)	23
9	ハンガリー舞曲 (全集) (Brahms, J)	Wiener Volksopernorchester	23
9	交響曲第8番「未完成」(Schubert, F)	New York Philharmonic.	23
9	ウィーンの森の物語 作品325 (Strauss, J)	Wiener Volksopernorchester	23

ご存じですか 図書館のしごと

学習に、研究に、余暇にと、図書館へ足を運ばれる皆さん！いつも閲覧室で読書や調査研究に時を過ごされたり、心温まる音楽や映画に休憩の時をもたれていることでしょう。

いろいろな資料が皆様の目にとまるまでに図書館では、どんな仕事をしているかご存じですか。今回は図書館資料を購入する係を紹介しましょう。先生や学生の皆さんが、「この資料を購入して欲しい。」とって来られると

ころが受入係です。

受入係では、図書、雑誌、ビデオテープ等の視聴覚資料を購入し、装備しています。受入係には、図書の検収や登録をする人、図書の代金を支払うための書類を作成する人、雑誌の受入をする人、雑誌の契約や支払をする人がいます。資料は数は、年々増加していますが、係員4名で、次のような資料を受入しています。

図 書		雑 誌	
和書	洋書	和書	洋書
11,189	4,789	12,144	8,039
15,978冊		20,183冊	

視 聴 覚 資 料			
カセットテープ	ビデオテープ	コンパクトディスク	レーザーディスク
352巻	58巻	149枚	36枚
マイクロフィルム	マイクロフィッシュ	フロッピーディスク	
657リール	997枚	1枚	

(昭和63年度受入分)

それでは、学生の皆さんに直接関係のある購入資料についてお話ししましょう。皆さんが良く利用される図書には、次のようなものがあります。

①指定図書

1年・2年の教養課程で、講義に関連して必ず読まなければならない図書のことで、指定図書は、指定図書室（2階西側）に配架しています。しっかり利用してください。

②専門図書

皆さんが、学習や調査研究する時に利用する図書です。

最近では、図書ばかりでなく、視聴覚資料も沢山購入しています。希望図書があれば、関連している先生に申し出るか、図書館の投書箱を利用してください。

③教養図書

講義とは関係なく教養や感性を育むための図書です。

「週刊 日販速報」の今週のベストセラーを参考にして皆さんが読みたいと思われる資料や皆さんから希望されているものを購入しています。

④教養雑誌（休憩コーナーに備付け）

AERA、朝日ジャーナルのような週刊誌や世界、中央公論などの月刊誌やニュートン、科学朝日のようによく読まれている科学誌などを購入しています。

Science やNature、更に The Times や The Economist のような雑誌や新聞もあります。この他にも、内外から寄贈される図書や雑誌などを多く受入しています。

「こんな図書、こんな雑誌、こんなものが図書館にあったらいいのになあ」と思っておられる方は、「すだち」に投稿して自分の意見を大いに発表しましょう。近い将来、図書や雑誌の受入れも電算化され、皆さんのご要望にも応じられることが多くなるでしょう。皆さんのご協力によりよい図書館に発展させましょう。

ここに図書館でアルバイトをされている桑原千穂さん（総合科学部2年）の図書館利用法をご紹介します。

桑原千穂

私は今、図書館で夜間のバイトをしています。

そのため図書館を利用する機会も多いのですが、最近気付いた図書館の便利な点を、2、3挙げてみたいと思います。

まず、私は長期休暇にはよく国内旅行に出かけるのですが、図書館には様々な地図や、各地の観光資料の載った郷土資料辞典があるので、旅行の計画を立てる時とても便利です。

また、書庫には過去何年間かの雑誌や新聞が保管されているし、郷土資料（徳島）なども豊富にそろっているの、政治や歴史などの研究材料にはもってこいだと思います。

この他、図書館には、CD、ビデオ、雑誌小説、辞書などいろいろ揃っているし、その上この図書館で働いている人達は皆親切で丁寧なので、フルに利用すれば非常に便利で面白い場所になると思います。

（総合科学部2年）

図書館業務電算化

図書館では、昭和59年度に学内情報処理センターの全面的援助のもとに電算化に向けてスタートしましたが、閲覧業務（図書の貸出、返却）のみで、最近の急速な情報化に対応できる状態ではなく、本格的な電算化が強く望まれていたところ、今年度電算機導入予算が認められ、学内情報処理センター、事務局情報処理課の皆様のご指導ご協力をいただきながら平成2年2月稼働に向けて鋭意努力しているところであります。このようなことで、今後利用者の皆様方にご迷惑をお掛けすることがあるかもしれませんが、ご理解とご協力をお願いいたします。

電算化については

①学術情報センターと回線で結び全国的な総合目録データベースを使って学術文献の相互利用ができるようになります。

②学内情報処理センターシステムを利用することによって、研究室から蔵書検索ができるようになります。

その他、次のような業務を順次電算化する予定にしています。

①閲覧業務（図書の貸出、返却）

現在の業務を移行して予約、督促、統計等サービスの向上に務めます。

②目録業務

学術情報センターの全国的な総合目録データベースから取込むことによって、目録作業が迅速化され、省力化されます。

③ 図書の受入業務

発注から支払まで、電算化されて、学部別、請求者（先生）別の購入図書リストや購入費の調査が容易になります。

④ 雑誌の受入業務

雑誌の予約から契約までの作業が容易になり、雑誌の欠号照会や支払、教室別予算管理も容易になります。雑誌目録も up to date（最新版のもの）になります。

⑤ その他

学外への文献コピーの申込みも電子メールになり迅速化されます。

図書館員一人一人が電算化に向けて早く技術の習得ができるように計画を進めています。完全なる電算化には、数年の年月が必要です。皆様に十分なサービスができるよう頑張ります。

ニュー・メディア紹介

CD-ROM

CD-ROMという言葉が最近多く耳にするようになりました。

CD-ROMは、外見は直径約12cmの音楽用CD（Compact Disc）と同じで、フロッピーディスクのようにデータを記録するものとして利用されています。ただ記録できる量は桁違いに大きく一枚のディスクの中に「広辞苑」や一年分の新聞記事くらいの文字データを楽に記録することができます。

利用法は、ROM（Read on Memory = 読出専用）のためフロッピーディスクやハードディスクのようにデータを追加・修正・削除することは出来ませんが、パソコンを使って様々な角度から検索することにより大量のデータの中から必要とする情報を取り出すといったような使い方に威力を発揮します。

しかも、記録できるデータは文字だけでなく図（グラフィック）や音も同時に記録できるのでデータ検索だけでなく他にも色々な利用法があります。

このような利点をもつため今年に入ってからCD-ROMドライブ装置搭載のパソコンも発売されてきました。また、既存のパソコンのほとんどはドライブ装置を接続することでCD-ROMの利用が可能になります。

ただ現在のところパソコンの機種（日本製の場合）によって使えるCD-ROMが制限さ

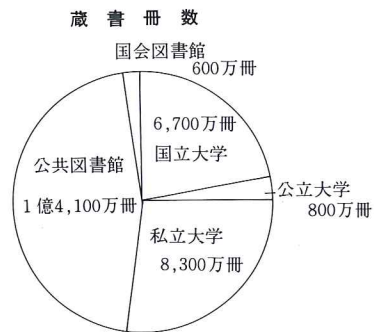
れており種類も少ないのですが、今後はどんどん充実していくでしょう。

すでに他の図書館では、辞書・事典類や文献情報データベースなどのCD-ROMをそろえてサービスを行っているところもあり、利用者になかなか好評のようです。

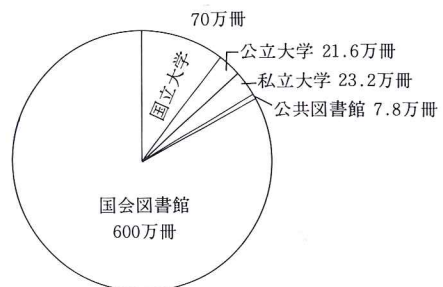
これからの図書館にとってCD-ROMは利用者サービスの重要な手段・道具として確実に定着していくものと思われます。

現状－日本の図書館

グラフを見てみましょう。日本のいろいろな図書館の所蔵状況がよくわかりますね。公共図書館の蔵書数は全蔵書数の半分以上を占めていますが、1館当りの蔵書数の割合は、1%にしかありません。大学別になると私立大学が沢山所蔵していますが、一館当りの蔵書数の割合では、国立大学が、公立、私立の大学の3倍以上も所蔵していることになっています。国立大学の中には、平均蔵書冊数の4～9倍も所蔵している大学があります。大学の大きさによって随分ちがいます。また、これらの蔵書数は重複しているものも全て含まれますので純冊数（純種類数）にはなりません。また年間の受入図書冊数や雑誌の種類数も同様なことが言えます。

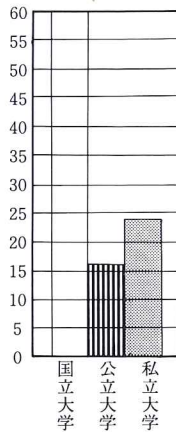


1館当りの蔵書冊数(昭和62年3月現在)



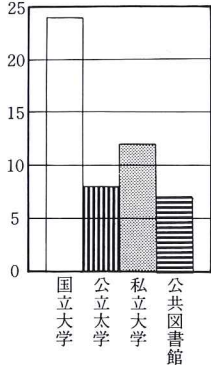
1館当りの年間雑誌種類数
(昭和62年度)

単位：百種



1館当りの年間図書受入冊数

単位：千冊



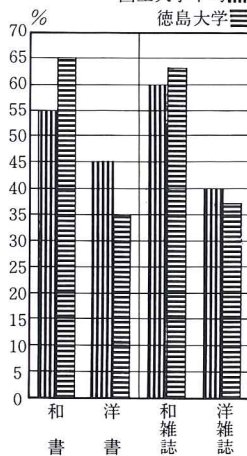
次に徳島大学と国立大学の1館当りの平均値を比較してみました。しかしながら、蔵書冊数は、遙かに及びません。年間の受入冊数などについては、近い数になっています。また、蔵書構成の割合から見ると洋書(洋雑誌)が少ないようです。それに反して洋雑誌の購入経費は高いようです。いろいろな角度から比較してみるのも徳島大学の図書館には役に立ちます。皆さんは、どのように思いますか。

徳島大学と国立大学1館当りの平均値の比較

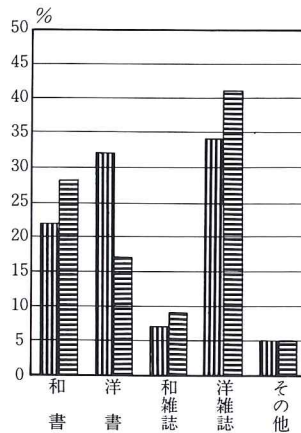
項目	蔵書冊数	図書受入冊数	雑誌受入種類数	図書館資料費
国立大学平均	70万冊	2.4万冊	6千種	2.3億円
徳島大学	52万冊	1.8万冊	6.3千種	2.1億円
昭和62年3月現在調査		昭和62年度調査		

受入資料の和洋別割合

国立大学平均
徳島大学



図書館資料費の資料別割合



★編集後記☆

海に山にと自然の中に融合して、暑い夏を謳歌された皆さん！次は前期の総まとめのために図書館を大いに利用してよき成果が得られるよう頑張りましょう。

今回も皆さんのお友達が図書館での本との出会いを書いてくれました。皆さんの体験などお寄せください。

編集：発行

徳島大学附属図書館

(〒770) 徳島市南常三島町2丁目1番地 徳島(0886)23-2310 内線(6111)